

【技術分類】 3－5－1 矯正治療／保定用器材／可撤式リテーナ

【技術名称】 3－5－1－1 ワイヤータイプリテーナ

【技術内容】

矯正治療において、矯正治療が終了してマルチブラケットなど矯正装置を外した後、矯正された歯列が安定するまで装着する器材のうち、自分で取り外し可能なプレートタイプのものである。

ワイヤーと特殊樹脂より構成されている。形状は歯表面に沿ったワイヤーと歯内側の樹脂で歯を押さえ込む構造をしている。

顎や歯を移動させる他の矯正装置と異なり、リテーナは歯が移動しないように使用するものである。

矯正直後の移動した歯の歯根周囲は、まだ骨がしっかり詰まっていないため不安定である。さらに歯と歯茎を結ぶ繊維の形は容易に変化しないため、元の位置に引き戻す力が働く。

リテーナは、歯の周囲の骨がしっかりと締まり、歯と接続している歯茎の繊維の形が新しい歯の位置になじむまで、歯の移動を抑制するものである。

【図】

図 1 ワイヤータイプリテーナ



図 2 ワイヤータイプリテーナの装着



【出典】

図 1： 表題：「Retainers：803 Hawley（Close）」、関連箇所：「株式会社 ASO インターナショナルホームページトップ>製品案内>SUB MENU：Retainer I>Retainers：803 Hawley（Close）」、著者：株式会社 ASO インターナショナル、掲載場所：株式会社 ASO インターナショナルホームページ、検索日：2006 年 11 月 15 日、
アドレス：http://www.aso-inter.co.jp/seihin_annai/Retainers1.html

図 2： 表題：「矯正装置：保定装置（リテーナー）：プレートタイプ」、関連箇所：「長崎大学医学部・歯学部附属病院歯並び・噛み合わせ治療室トップページ>矯正装置：保定装置（リテーナー）：プレートタイプ」、著者：長崎大学医学部・歯学部附属病院内 歯並び・噛み合わせ治療室、掲載場所：長崎大学医学部・歯学部附属病院内 歯並び・噛み合わせ治療室ホームページ、検索日：2006 年 11 月 20 日、
アドレス：<http://www.dh.nagasaki-u.ac.jp/orthod/porion/equipment/index.html>

【技術分類】 3－5－1 矯正治療／保定用器材／可撤式リテーナ

【技術名称】 3－5－1－2 金属リテーナ

【技術内容】

矯正治療において、矯正治療が終了してマルチブラケットなど矯正装置を外した後、矯正された歯列が安定するまで装着する器材のうち、自分で取り外し可能な金属タイプのものである。

材質はワイヤーと樹脂板より構成されている。形状は歯表面に沿ったワイヤーと歯内側の樹脂で歯を押さえ込む構造をしている。

顎や歯を移動させる他の矯正装置と異なり、リテーナは歯が移動しないように使用する。

矯正直後の移動した歯の歯根周囲は、まだ骨がしっかり詰まっていないため不安定である。さらに歯と歯茎を結ぶ繊維の形は容易に変化しないため、元の位置に引き戻す力が働く。

リテーナは、歯の周囲の骨がしっかりと締まり、歯と接続している歯茎の繊維の形が新しい歯の位置になじむまで、歯の移動を抑制するものである。金属リテーナは特に、唇顎口蓋裂の患者に使用する。

【図】

図 1 金属リテーナ



【出典】

図 1： 表題：「Retainers：809 Metal Retainer」、関連箇所：「株式会社 ASO インターナショナルホームページトップ>製品案内>SUB MENU：Retainer II>Retainers：809 Metal Retainer」、著者：株式会社 ASO インターナショナル、掲載場所：株式会社 ASO インターナショナルホームページ、検索日：2006 年 11 月 15 日、アドレス：http://www.aso-inter.co.jp/seihin_annai/Retainers2.html

【技術分類】 3－5－1 矯正治療／保定用器材／可撤式リテーナ

【技術名称】 3－5－1－3 スプリングタイプリテーナ

【技術内容】

矯正治療において、矯正治療が終了してマルチブラケットなど矯正装置を外した後、矯正された歯列が安定するまで装着する器材のうち、自分で取り外し可能なスプリングタイプのものである。

比較的太いワイヤーで構成されている。形状は前歯表面に沿ったワイヤーで歯を押さえ込む構造をしている。

顎や歯を移動させる他の矯正装置と異なり、リテーナは歯が移動しないように使用する。

矯正直後の移動した歯の歯根周囲は、まだ骨がしっかり詰まっていないため不安定である。さらに歯と歯茎を結ぶ繊維の形は容易に変化しないため、元の位置に引き戻す力が働く。

リテーナは、歯の周囲の骨がしっかりと締まり、歯と接続している歯茎の繊維の形が新しい歯の位置になじむまで、歯の移動を抑制するものである。スプリングタイプリテーナは特に、前歯部の元の位置への後戻りを防止するために使用する。

【図】

図 1 スプリングタイプリテーナ



【出典】

図 1： 表題：「Retainers：810 Spring Retainer」、関連箇所：「株式会社 ASO インターナショナルホームページトップ＞製品案内＞SUB MENU：Retainer II＞Retainers：810 Spring Retainer」、著者：株式会社 ASO インターナショナル、掲載場所：株式会社 ASO インターナショナルホームページ、検索日：2006 年 11 月 15 日、アドレス：http://www.aso-inter.co.jp/seihin_annai/Retainers2.html

【技術分類】 3－5－1 矯正治療／保定用器材／可撤式リテーナ

【技術名称】 3－5－1－4 クリアリテーナ

【技術内容】

矯正治療において、矯正治療が終了してマルチブラケットなど矯正装置を外した後、矯正された歯列が安定するまで装着する器材のうち、自分で取り外し可能なマウスピースタイプのものである。ソフトリテーナ、インビジブルリテーナ、トゥースポジショナなどともいう。

材質は透明な熱可塑性樹脂であるアクリル樹脂やラバー系の材料よりできている。形状は左右の大臼歯間を完全に被覆する構造をしている。

クリアリテーナは透明であることから、非常に目立たないため、審美性に優れる。

【図】

図 1 クリアリテーナ



【出典】

図 1： 表題：「リテーナについて：種類：インビジブル」、関連箇所：「Home＞矯正治療中の患者様へ＞リテーナについて：種類：インビジブル」、著者：医療法人矯晶会 杉山矯正歯科医院、掲載場所：医療法人矯晶会 杉山矯正歯科医院ホームページ、検索日：2007 年 1 月 30 日、アドレス：http://www.omotesando.co.jp/option_re.html